## まちづくり交付金 事後評価原案シート 下條地区

平成21年 11月

長野県下條村

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名 下條村				地区名			下條地区		面積	838ha				
交付期間	平成19年度~21年度		事後評価家	実施時期	<u> </u>	平成21年度	·成21年度		交付対象事業費		208百万円 国費		0.4				
			事業名														
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業	道路(村道3・23号線)、公園(北又の森公園)、地域基盤生活施設(防災情報通信施設 地区内全域)														
	実施した事業	提案事業	地域創造支援事業(情報通信基盤整備 地区内全域)														
		1		事業名						削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から	基幹事業	なし														
	削除した事業	提案事業	なし														
	新たに追加し	基幹事業	なし														
	た事業	提案事業															
	交付期間 の変更	当 初 変 更		19年度~2 1 年度~	1年度 年度	交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響											
		指 標	<u> </u>	単位	従前	値 基準年度	目標	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標達成度	1年以内(達成見込			フォローアップ 予定時期		
	指標1	定住者の増加		人	4,196	18年度	4,230	22年度		4,181		あり なし	ケーブルテレビや、ブロードパンドサービスに 若者に魅力ある移住環境の整備を行	より、情報格差が解消し、 テうことができた。	H22年 4月頃		
2)都市再生整備計画 に記載した目標を	指標2	各種警戒情報	服の周知率	%	49	18年度	95	22年度		96		あり なし	防災行政無線、音声告知システムを 時の確実な情報伝達が村内全域で	導入したことのより、災害 可能となりました	H 年 月頃		
定量化する指標の達成状況	指標3											あり なし			H 年 月頃		
	指標4											あり なし			H 年 月頃		
	指標5											あり なし					
	指標		単位		従前値 目標 基準年度		値 目標年度	数 値 度 モニタリング 評価値 道		目標 達成度 1	1年以内( 達成見込		効果発現要因 (総合所見)				
3)その他の数値指標 (当初設定した数値	その他の 数値指標1	CATVの加入	者数	%	0	18				88			村内にあった難視聴地域(450) より快適な生活環境となった。	世帯)の解消が図られ、			
目標以外の指標) に よる効果発現状況	その他の 数値指標2	光ブロードバ 数	ンドの利用者	%	0	18				48			目標1の定住促進に繋がり、誰ない生活環境が確保されるよう	もが快適で地域格差の になった			
	その他の 数値指標3																
4)定性的な効果 発現状況	地域の方々の緑や	公園に対する	5意識が向上し	た													
5)実施過程の評価			実施内容					<b>*</b> □→ <b>エ</b> ↓⇒	実施状況				今後0	今後の対応方針等			
	モニタリング		なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス		なし 都					都市再生整 都市再生整	再生整備計画に記載し、実施できた 再生整備計画に記載はなかったが、実施した 再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なま 体制の	ちづ(リ) 構築	計画・立案を地区自治会と行い、親しみやす〈快適で利用しやす都市					都市再生整 都市再生整	8市再生整備計画に記載し、実施できた					治会と協力し公園管理・運営を行い、快適で利用しやすい公園を る。			

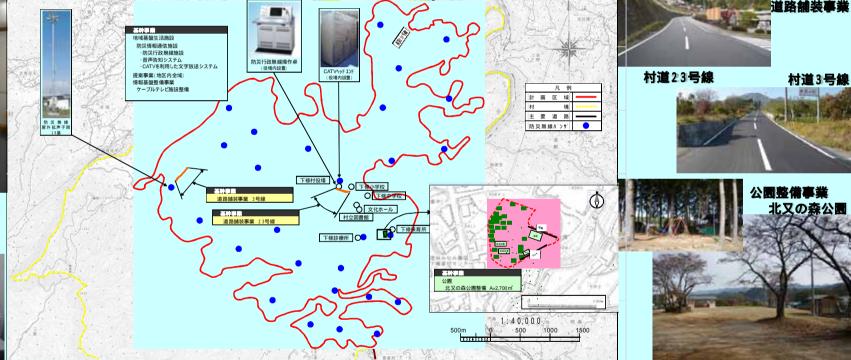
## きゅう 黄田

下條地区 (長野県下條村) まちづ(り交付金の成果概要    まちづ(りの目標	式2-2 地区の概要		0.4BW#						
下除地区を中心に住環境の向上を図り、人・情報・文化・産業が集まり「若者が住みたくなる」「生き生きと生活できる」	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	《(長野県ト條村) まちつ(リ交付金( 	の成果概要						
F 係地区を中心に任環境の同上を図り、人・情報・文化・産業が集まり「若者が任みたくなる」「生き生きと生活できる」とうな、心豊かな、安心でゆとりのある生活空間を創出するまちづくり  目標1 だれもが安心して暮らせる生活環境や、住み続けたくなる空間を創出し、定住促進につながるまちづくりを目指す。  目標2 人・情報・文化・産業が集まりる魅力あるまちづくりを目指す。  F 徐 CATV ヘッドエンド  「地域経過生活態度   別次行音機機能度   日本度の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	まちづくりの目標	目標を定量化する指	標	従前値		目標値		評価値	
合種警戒情報の周知率   単位: %   49   H18   95   H22     目標1 だれもが安心して暮らせる生活環境や、住み続けたくなる空間を創出し、定住促進につながるまちづくりを目指す。   単位:   H   H   H   H   H   H   H   H   H	************************************	定住者の増加	単位: 人	4,196	H18	4,230	H22	4,181	H21
日標	とときやいには破場の例子を図が、人、情報、大化・産業が来るが、名目が住めたべるが、至ら至らと主治とものに、心豊かな、安心でゆとりのある生活空間を創出するまちづくり	各種警戒情報の周知率	単位: %	49	H18	95	H22	96	H21
定住促進につながるまちづくりを目指す。       単位:       H       H         下條CATV ヘッドエンド       単位:       H       H         地域基盤生活施設	目標1 だれもが安心して暮らせる生活環境や、住み続けた〈なる空間を創出し、		単位:		Н		Н		Н
単位:	定住促進につながるまちづくりを目指す。		単位:		Н		Н		Н
ペッドエンド  地域整理法施設  防災情報通信施設  防災行政無線機作車 (日本の1977 A	日信(一人 '同物' 又化' 性耒が朱まりる沁月のるまち ノ\リを日拍り。		単位:		Н		Н		Н
提案事業 (地区内全域) 情報基盤整備事業 ケーブルテレビ施設整備 イブルテレビ施設整備	・ツドエンド  - 地域基盤生活施設  - 防災情報適信施設 - 防災情報適信施設 - 防災方理無線施設 - 音声告担ンステム - CATVを利用した文字放送システム - 振寒事業 地区内全域 - 情報を盈整事業業	防災行政無線操作卓 (役場内設置)				村道	23号線	道路制	後事: 首3号:



音声告知端末機

防災無線 放送機器



・デジタル防災無線、音声告知システムなど情報通信基盤を構築したことにより、災害時の情報伝達、初期非難の早期対応を図るなど、安心して暮らせる生活環境が整備された。 音声告知システムの光ファイバー網を利用し、ケーブルテレビを整備したことにより、文字放送による災害情報の伝達、テレビの難視聴地域の解消、地上波デジタルの受信が可能となり、

地域全体の生活環境の向上も図られた。 まちの課題の変化 道路整備や公園整備により、移住環境が整備され今後の若者の定住や人口増加につながる整備が行えた。

- ・ケーブルテレビが整備されたことにより、今後は自主放送機器を充実させ、村内の細かな情報発信を行うことにより、地域のコミュニティーを一層深めていきたい。 光インターネットの整備により、現在、村全体で半数近くある加入率を、今後は全戸加入となるよう目指し、より快適な生活空間を確保していきたい。
- ・村内ほぼ全域の幹線道路整備が行えたため、今後は維持管理に心がけ、安心して通行できる道路整備を行っていきたい。
- 子供から大人まで多目的に利用できる公園が整備されたため、維持管理に心がけ、地域の憩いの場となるよう心がていきたい。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)